

キリスト教社会福祉学研究

44号

Christian Social Welfare Science

2011

CSWS

| | | |
|----------|--|-------------------------------|
| 巻頭言 | 日本キリスト教社会福祉学会の新たなミッション —希望の光を灯す群れとして— | 市川 一 宏 河下 幹 夫 田 守 守 |
| 論文 | I キリスト教と公共福祉 | |
| | II 当事者の魂の叫びを聴くことについて—カネミ油症の経験から | |
| 投稿論文 | I 高齢者総合施設「旭ヶ岡の家」がもつ地域住民の意識の変容への可能性 —人格的交流と文化活動による共感、人権を尊重する意識の形成 | 柴田 謙 治 |
| | II 賀川豊彦の農村社会事業の思想と実践に関する一考察 —『農村社会事業』(1933)を通して— | 李 善 恵 |
| 研究ノート | I 19世紀デンマークのディアコニア —コペンハーゲン内国伝道の働き | 森本 典 子 |
| | II 日本における「ショファイユの幼きイエズス修道会」 の社会福祉活動の歴史 | 松尾 眞 理 |
| | III 明治初期横浜のプロテスタント慈善事業の展開 —宣教師の働きを中心として— | 清水 秀 樹 佐竹 要 平 林 田 秀 彦 |
| 第52回大会特集 | IV 佐世保友の会と婦人保護 開会礼拝 奨励「主と共に働く喜び」 基調講演 「神は貧しく小さくされた者とともに —当事者の立場に立つということ—」 | 本 田 哲 郎 |
| | シンポジウム「混迷する社会を拓く福祉の源泉II—当事者の魂の叫び—」 | |
| | 発題要旨1 「当事者の魂の叫びを聞く」 | 犬 養 光 博 宮 崎 信 義 |
| | 発題要旨2 「障害児者の魂の叫びと救い—キリスト教社会福祉実践から」 | 吉 永 理 巳 子 山 城 順 |
| | 発題要旨3 「水俣病で犠牲になった人の死を、無駄にしない社会を」 | |
| | 特別講演 「危機を生きる—エリカ・シューハートの八つのらせん局面理論—」 | |
| | パネルディスカッション「魂の叫び(スピリチュアル・ペイン)を聴く」 | |
| | 発題要旨1 「魂の叫びを聴く」 | 下 田 順 敏 宿 輪 公 子 内 村 義 康 |
| | 発題要旨2 「魂の叫びを聴く」 | 村 田 哲 耕 |
| | 発題要旨3 「スピリチュアルケアの視点から」 | |
| 書 評 | I 阿部志郎著『社会福祉の思想と実践』 | |
| | II 三原博光編『日本の社会福祉の現状と展望—現場からの提言—』 | |